

# 月刊東乳商

第479号  
第480号  
合併号

発行所  
東京都牛乳商業組合  
広報部 〒101-0038  
東京都千代田区神田  
美倉町12三恵ビル5F  
☎ (5295) 3721(代表)  
FAX (5295) 3724

●東京都牛乳商業組合 平成19年1月20日

毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共)(昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

乳製品販売顧客管理コンピュータシステム

## 市乳くん

宅配/卸・ハンディ・本支店間・LAN・EOS・顧客管理

【資料請求はこちらから】>>>> 0120-5959-92

株式会社 オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

### 年頭のご挨拶

### 牛乳のペットボトル容器認可

### 販売店への影響に重大関心

東京都牛乳商業組合

理事長 渡邊佳三郎



近年、牛乳の消費減退の理由がいろいろと取りざたされており、理由の一つに牛乳は脂肪が多くなるという意識が強まり、豆乳や野菜ジュースの方が美容や健康に良いと考える人達が多くなってきた事、「病気になる生き方」という本がベストセラーとなり「牛乳は身体に悪い」と思い込み牛乳を飲むのをやめようという人も出

### 新春所感

### 福祉牛乳を通じて

### 高齢者安否確認の実現を



副理事長 広川雅也

昨年は新谷氏の著書「病気になる生き方」に牛乳業界は振り回された感がある。今年も既に容器のペットボトル化が問題になりつつある年です。

実は三鷹市で07年度予算に向け、市長と住民の懇談会に出席し、老人福祉牛乳の説明や老人の健康増進と孤独死をなくす取組みを実現できるようお願いした。



副理事長 相田 勝

### オプトアウトを自ら推進しよう

と同時に孤独死も増えている。一人暮らしの方で、80歳以上の希望者に対して福祉牛乳を届ける、そして安否を確認する、この制度をお年寄りに活用してもらうために、市が牛乳代の全額または一部の価格補助をしていただく。牛乳はお年寄りに欠かせられない栄養食品なので是非検討して下さるようお願いした。この運動は地道な運動ですが組合としては組合強化のためにも必要だと思えます。

昨年大きな問題となった原乳余

トボトル容器」が売り出された時に販売店としてもどのような影響が出てくるのか心配です。また、幼児や高齢者が飲みきれずに2回に分けて飲んだ時の安全性はどうなのか、それに対する各乳業メーカーの対応はどのように考えられているのかも心配です。

厳しい環境のなかで牛乳販売店が生き延びることができたのは「宅配専用牛乳」があったからです。成熟した「宅配専用牛乳」が衰退期に入らないことを願うとともに、この問題は販売店業界が一丸となって取り組む問題だと思えます。

乳問題は、裏を返せば牛乳消費の落ち込みであり、生産調整の問題でもあります。そのような中で十九年度の我々販売店業界にとって高齢後継者・訪販オプトアウトやペットボトル牛乳問題等いろいろな難題が幾つも浮上しています。

東乳商に於いても昨年十二月、牛乳価格適正化協議会に於いてこの問題を取りあげました。

お問い合わせはフリーダイヤル  
**0120-669-433**

普及版 50万円 リース月額9,800円×5年  
機能:手集金/郵便払込/卸機能

標準版 78万円 リース月額15,300円×5年  
袋集金/銀行・郵便引落/繰越入金

①コンビニ払込機能 ②ゼンリン住宅地図  
付で各100万円の新価格登場!

保証もバッチリ!  
・メーカー出張修理5年無料  
・機材故障/破損の交換無料・遠隔操作によるサポート

十九年度は、この問題を東乳商が案文を作成し、協議会で議論し、東京都の認可団体である東乳商が指導を受けながら我々自身で「ガイドライン」を作成し、悪質訪販・電話勧誘の防止に一定の枠を作り上げ、我々自身で牛乳業界を守っていかねばなりません。このような問題を取り上げる事の出来るのは商業組合だからであります。

### 新春の抱負

### 小規模販売店に対する施策が必要



中央ブロック長 浅黄豊晴

昨年はいろいろな変動の多い年で、政権交代があり、また格差社会が一段と鮮明になる中で、マ



常務理事 城東ブロック長 高津征夫

十八年度事業計画に「ホームページ構築」が取り上げられ、私が制作責任者に任命され、昨年七月に「Web構築委員会」を立ち上げ、メンバーに久古次郎氏、瓜本治氏、広川桂二氏、栃原茂氏、田村博哉氏に加わってもらい、月に一回のペースで検討を進めてきました。昨年十二月に「東乳商のホームページ」が開設の運びとなりました。「東京の牛乳屋」と検索していただければご覧になれます。

お客様に健康を届けよう



常務理事  
城北ブロック長  
瀬戸正夫

今年、東乳商の渡邊理事長や Web 構築委員会の高津リーダーをはじめ、若手組合員のおかげでホームページも立ち上がり、大いに期待するところですが、一方紙容器やガラス等に加えペットボトルが加えられる動きがあり、どうなるか心配です。どうか皆さん、要は「健康」です。消費者(特に年配の方が多い)に健康を届けるために、今年も頑張ろうではありませんか。

組合員の団結で  
商権擁護と地位向上を



常務理事  
城西ブロック長  
川井邦伸

私たち販売店は、半世紀以上もの間、営々として牛乳販売事業に取り組み続けて来たと言ふ自負、またあらゆる逆境を乗り越えてきた自信をバネに、あと数年の内に 50 周年を迎える伝統有る認可団体としての東京都牛乳商業組合の組合員が団結をして私たち販売店としての商権擁護と地位向上のために頑張りたいと思います。うれしいことに昨年は懸案でありました杉並支部の再建が支部員の皆様と関係者のご協力のもとに実現し、今年からは支部活動が具

体化していくものと期待しております。さあ今年には地域密着型販売店の出番です。

組織再編は支部で  
十分な議論を



常務理事  
山の手ブロック長  
田村寿雄

昨年は、保育園の民営化問題で世田谷支部員の皆様と世田谷区役所に赴き、私たちの胸のうちの話をしてきました。また、新 BOP 事業では世田谷四支部長の協力を得て、世田谷区と商業組合世田谷支部との間に世田谷七十の小学校に牛乳(L)、ジュース(L)を届けることで合意を得ました。今年、組織再編が検討されようとしています。支部の統廃合は非常に難しい問題であり、十分に議論を重ねる必要があります。その結果、支部が分裂、空中分解しないよう、また後々遺恨を残さないようまとまる事を念じています。

営業スタッフの  
質の向上を



常務理事(多摩第一ブロック長代行)  
立川支部長  
中村和幸

私たちの販売は最も地域に根ざしたものであり、常にお客様に信用と信頼を得ることが必要です。

宅配市場は決して無限ではなく、一定の地域の中で根強く生き残っていくためには、宅配商品及び従業員特に営業スタッフの質の向上を取り組みを各店の最大の目標にしなければなりません。いつ何が起きるのか予測が出来ない時代ですが、何があっても皆で知恵を出し合い難局を乗り切っていくために、今年も組合員皆様の積極的参加をお願い致します。

組織再編に全力



常務理事  
多摩第一ブロック長  
磯辺二元央

昨年は乳業界もいろいろな問題が山積し、渡邊理事長の下で役員一同事業計画に対し実行に努力して参りました。今年には組合再編という大きな事業計画があり、この懸案に全力を挙げ邁進していくつもりです。ので組合員の皆様方のご協力をお願い致します。

山積する諸問題に  
情報交換を密に



参与(明治)  
小泉一夫

私どもの牛乳宅配業も振り返れば「開拓すれば取れる」を合言葉に宅配の復活を目指して二十五年になります。その間いろいろな困難があったとはいえ、他の小売業(米屋、八百屋、酒屋、肉屋)が

衰退する中、よく頑張ってきたと思います。今年こそ各メーカー、販売店が情報交換し話し合いを密にしてこれからの問題に対処していかなくてはならないと考えます。東乳商の活動にご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

販売店による「在宅安否確認」の  
他自治体への普及を



参与(森水)  
下田征男

私の住む国立市では、「在宅安否確認」として、一人暮らしの高齢者向けに牛乳(ヨーグルト、コーヒー含む)を週三回届けており、お年寄りに大変喜ばれていますが、その中で、不幸にも亡くなられている方の発見もしております。在宅安否確認にはいろいろな方法があると思いますが、「牛乳」で確認する手法は大変良いと考えられますので、各地で普及すればと思っています。

ホームページの活用を



参与(メグミルク)  
岡崎隆夫

昨年十二月に当組合も待望のインターネットのホームページが開設され、これからのいろいろなご利用されるお客様も多くなろうかと理事長はじめ役員の方々も大いに期待しております。今年も健康に留意し、共に頑張りたいと思っています。

おめでとーりーごーざいーます

<p><b>東京明乳事業協同組合</b></p> <p>理事長 原田邦夫 副理事長 川幡康成 専務理事 的場眞一 高梨創</p> <p>東京都墨田区緑一―二六―十一 (明治乳業両国ビル二階) 電話 〇三―三六三一―六九七〇</p>	<p><b>森永牛乳協会</b></p> <p>会長 河野行博 副会長 下田征男 加藤光彦 五藤達雄 大野昌昭</p> <p>〒105-0003 東京都港区西新橋三―二四―五 レック御成門川名ビル八〇二号室 電話 〇三―三三三七―三八八二</p>	<p><b>東京メグミルク協会</b></p> <p>会長 依田末男 副会長 清水長治 西村武男</p> <p>〒182-0025 東京都調布市多摩川一―三〇―一 日本ミルクコミュニティ株式会社内 TEL 〇四―二四八七―五三三二 FAX 〇四―二四八七―五三二五</p>	<p><b>東京メイトー牛乳協会</b></p> <p>会長 佐藤宗健 副会長 井上修也 藤橋國夫</p> <p>東京都板橋区幸町二―四 協同乳業(株)東京支店市乳課内 電話 〇三―五九六六―二二一七</p>
---	---	--	--

# 改善協版

## 年頭のご挨拶



東京都牛乳流通改善協会  
会長 村田 武司

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え心から新年のお祝辞を申し上げます。

日頃は当協会に對しまして皆様方から格別のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて昨年の我が国の経済は、原油価格や米国経済の動向が懸念材料となつたものの、好調な設備投資など内需の底堅い伸びと世界経済の拡大を背景にした輸出の堅調な増加に支えられ、景気は緩やかに拡大しているようでありませぬ。

そして戦後最大のいざなぎ景気五十七ヶ月を超えたということでありませぬが、しかし一般国民には、その実感は未だありません。今後の経済情勢は景気の回復が続くもの

を意識し数年後にはその展開を考えなくてはなりません。

特に近年小さな規模の店が廃業に追い込まれる現実を否定できません。

今、メーカー自身の考えている事はお店も大切ですが、それ以上将来に向かつて消費者の取り組みにメデイアを利用してきております。

と思われませんがこれが消費の拡大に繋がって行くことを望みたいものであります。

一方我々を取り巻く状況は昨年「病気になるな生き方」という牛乳有害説が出て、少なからずその消費に影響を及ぼしていると思われませぬが、いたずらに心配をせず、酪農関係とも手を携えて対応して行かなければなりません。

また我々販売店の状況を振り返って見るといろいろと懸念されるものが多いと見られます。それは自分のエリアをきちんと守る事も出来ず、いたずらに遠方にお客を求めモラルのない新しい店が増えてきています。

更に現在平均年齢が六十七才であるということ

今年度も当協会では全

と存じます。

改協の事業を中心に取り組んで参りましたが、皆様のご協力に對し厚く御礼申し上げますと同時に新年も皆様と協働しながら同様に進めて参りたい

最後になりましたが、今年の皆様のご発展ご健勝をお祈りし、引き続きご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

### 十八年度優良事例

#### 関東甲信越ブロック本審査について

昨年十一月に優良事例関東甲信越ブロック本審査が行われました。

結果は：  
千葉 (有) 京葉アメニテイ 真下健氏 (メグ)

神奈川 (有) ミルクネットワーク(有)

宮崎牛乳店 宮崎貴氏の二店が最優秀賞

群馬 (有) サンライト 木原勝氏 が優秀賞に輝き、最優秀の二店が全国審査に臨まれる事になりました。

全国審査は来る一月二十四日に東京でおこなわれます。

### 2006年 酪農乳業界重大ニュース

(酪農乳業研究会選定)

1. 乳業大手3社が北海道のチーズ工場建設に着手
2. 牛乳消費浮上せず、12年ぶりの減産型計画生産
3. 輸入原料高騰でプロセスチーズ16年ぶり値上げ
4. 明治乳業関西工場、森永乳業神戸工場が竣工披露
5. WTO交渉中断、日豪FTA/EPA問題が浮上
6. 発酵乳、プレーンタイプ中心に復調気配が鮮明に
7. 北海道で3月に生乳廃棄、社会的論議呼び起こす
8. 牛乳の需要喚起・差別化へ各社活発な新商品投入
9. 牛乳無理解バッシングに業界が反論体制構える
10. 牛乳・乳製品の輸出促進検討、チルド牛乳販売

(日刊酪農乳業速報より)

## 新年明けまして

東京興真会

会長 関根伸綱

副会長 久古次郎  
中村和夫

千葉県八千代市大和田新田一三五  
コーシン乳業(株)内  
電話 〇四七―四五九―五七〇〇

小岩井牛乳協会

会長 長谷川 清

副会長 相田 勝

東京都千代田区鍛冶町二一六一  
堀内ビル六階  
小岩井乳業(株)東京支店内  
電話 〇三―五二〇九―八〇三二

グリコ牛乳販売事業協会

理事長 牛尾田 建一

副理事長 佐伯 茂  
専務理事 森田 正男

川崎市多摩区登戸五九八  
(牛尾田 建一内)  
電話 〇四四―九一―七三三三

### 東乳理事支部長 新春のつどい

日時 / 1月26日 午後5時  
場所 / 新宿「京王プラザホテル」47階  
会費 / 5000円  
出欠の返事を出されていない方は、  
大至急ご返事を

#### 東乳商ホームページ開設のお知らせ

ご願った東乳商ホームページを開設しました。  
東乳商ホームページのアドレス (URL)

<http://www.tokyo-gyunyuya.com>

組合員専用ページ  
パスワード tokymilk

お客様からのお問い合わせや組合員相互の情報交換にご活用ください。



# 都普協版

## 年頭のご挨拶

東京都牛乳普及協会

会長 小笠原 鉦一



新年明けましておめでとございます。

皆様には益々ご健勝にて二〇〇七年の輝かしき新春をご家族おそろいでおすこやかに迎えにあられたことを心からお慶び申し上げます。

旧年中は、当協会の運営並びに牛乳の消費拡大事業の推進に格別のご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

本年も、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

元旦に、気持ちも新たにカレンダーを掛け表紙をめくる。手帳も新しいものにきりかえ。毎年同じことが繰り返される訳ですが、近頃一年が経つのが早く感じるのは年齢のせいばかりではなさそうです。世の中それだけ慌ただしくなっているからかも知れません。

大概の手帳には年齢早見表が付いています。昭和〇〇年は西暦△△年で、その人は今年何歳で干支は何、といったことが一目でわかり

ます。昭和二二年(一九四七年)亥年生まれは今年還暦、六〇歳になります。団塊の世代の大量退職が始まります。専門知識や技能を持つ人材が退職すること、特にマニュアル化しにくい技術は継承が難しく、企業活動が停滞する恐れが指摘されています。所謂二〇〇七年問題です。技術を伝承する制度を作ったり雇用期間を延長するなど対応に苦慮する企業も少なくありません。

この問題は、農業にとっても対岸の火事といってはいただけません。本年四月から新たな経営安定対策としての「担い手経営安定新法」が施行され、品目別価格政策から品目横断的経営安定対策の実施など、戦後最大といわれる農政改革が本格化します。経営規模の拡大や集落営農の組織化、など、効率的な生産体制の確立が推進されます。これは、乳業界においてもおおおいに関心のある問題です。

二〇〇六年酪農乳業

界重大ニュースのトップは「乳業大手三社が北海道のチーズ工場建設に着手」が選ばれました。昨年は、「牛乳消費低迷で生乳需要が一段と悪化」がトップでした、昨年度も生乳の需給緩和が続きました。生産者と乳業メーカーの必死の努力にも関わらず、脱脂粉乳、バター、の在庫過剰は解消できませんでした。緩和した生乳需給を解決する手段として、従来からの飲用牛乳に頼った需給政策を見直す必要性が生じてきました。

酪肉近代化基本方針などでは、生クリームや発酵乳、チーズへとシフトしている政策誘導も始まりました。酪農、乳業の両者が生乳生産基盤の確保や需給改善の面から、これまで我が国の酪農乳業の中で注目が低かった国産ナチュラルチーズ増産に対する関心が高まってきました。これらのことを踏まえ大手乳業三社は国産ナチュラルチーズの増産体制を図るため、工場の新増設に着手しました。我が国の酪農乳業が新たな方向へと模索が始まりました。

社団法人日本酪農乳業協会では牛乳・乳製品の需要拡大に向けて、カルシウムに富むなど牛乳・乳製品の良さを全面に出し、特に若年層にアピールする形で、

平成十五年度からJミルクの普及事業の中心に3-A-Day運動を位置づけて展開しています。平成十六年の三月からは消費者に向けての運動をスタートさせ実質三年になります。

この運動は、すでに皆様ご存知のことと思いますが、一日に三回もしくは三品の牛乳、ヨーグルト、チーズを食べることで、食生活をよりよく改善し、健康になるという運動です。牛乳・乳製品を取り入れれば少ないエネルギーで、つまりカロリーをとり過ぎずに、今よりも栄養バランスの良い食生活を送ることができるといふものです。朝や休憩中、寝る前、またはスポーツの後にコップ一杯の牛

乳を飲む。昼食のデザートにヨーグルトを選ぶ。おやつやアルコールのおつまみにチーズを食べる。牛乳が苦手という人はコーヒーや紅茶に入れるなど牛乳・乳製品を意識して生活に取り入れるという習慣を身につけることにより、肥満予防など国民の食習慣の改善に寄与するとともに、牛乳・乳製品の消費拡大を図ろうという運動です。

3-A-Day運動は、短期間で成果を期待するものではなく、息の長い取組が必要です。酪農乳業界に携わる我々が自ら率先して実践し運動を盛り上げていくことが重要だと考えます。

本年も事業実施に当たっては昨年同様、関東甲信地区牛乳普及協

議会(静岡含む)一都九県が連携をとりながら、また関東生乳販売農業協同組合連合会の協力を得ながら効率的に事業を展開していきます。今後とも事業推進にあたっては会員の皆様方が納得して頂ける透明性のある事業とし、創意工夫により、今まで以上に、少ない経費でより大きな効果が出るよう努力してまいります。

関係官庁、及び「生」・「処」・「販」各団体のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、平穏な二〇〇七年になることを願うとともに、各位のご健勝と益々のご発展を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

たつては昨年同様、関東甲信地区牛乳普及協

### 情報誌「ほわいと」の有償配付のご案内

情報誌「j-milk magazine ほわいと」は、社団法人 日本酪農乳業協会(Jミルク)が保健所、保健センターの保健士・栄養士等を通じて、牛乳・乳製品についての正しい知識・情報を一般に広く普及啓蒙してもらうために年四回発行しているものです。

健康保険組合、大学、専門学校、酪農乳業関係者等にも配布しています。季刊誌として平成十八年は、春「アクティブシニアを楽しもう…ミルクでもっと健やか人生…」、夏「美しくやせる…ミルクダイエット…」、秋「丈夫なカラダづくりって?…生田智子さんにミルクインタビュー」、冬「元気の知恵袋…ミルクでカゼをふきとばせ…」の四大テーマ特集形式で構成し各号二万三千部を配布しています。また一般向けへ広く啓蒙するために、「ほわいと」と同じ内容のコンテンツをJミルクのホームページに、WEB版という形で展開しています。

一般の人でも楽しく読みながら牛乳・乳製品の知識や情報が得られます。各種イベントや会合での利用また地域への普及の一環として活用できます。

有償配布を希望される方には次の方法で購入することができます。

#### 1、配布誌

##### 「j-milk magazine ほわいと」

号名	発行月	申込期限	号名	発行月	申込期限
夏号	6月	5月末日	冬号	12月	11月末日
秋号	9月	8月末日	春号	3月	2月末日

#### 2、配布方法等

毎回の「ほわいと」印刷までに必要量を注文すると、増刷して販売店まで届けてくれます。

- ・発注単位：100部単位(最小発注量も100部)
- ・配布価格一部60円(消費税別)
- ・発送費は着払いとなります。「ほわいと」到着時に現金でお支払いください。

詳細については社団法人 日本酪農乳業協会のホームページに掲載されています。(http://www.j-milk.jp)

#### 3、問い合わせ先

〒104-0045 東京都中央区築地6丁目4番10号  
カトキチ築地ビル9階  
社団法人 日本酪農乳業協会「ほわいと」係  
電話 03-6226-6351 FAX 03-6226-6354  
Mail:info@j-milk.jp

### 東乳商 計報のお知らせ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

11月16日 杉並区 石黒牛乳店店主

石黒大治郎殿

義母土屋ハルイ様

享年93歳

12月19日

世田谷区

森永牛乳下馬販売店店主

市川清廣殿

実母とく様

享年94歳

12月24日

新宿区

明治牛乳西落合販売店店主

藤田弘光殿

実父 清様

享年83歳